

# 同窓会会報

高知県立大学看護学部

第17号

平成30年10月15日発行

〒781-8515 高知市池2751-1



同窓会総会にて(料亭濱長からみた鏡川と筆山)

## ごあいさつ

### 同窓会副会長 藤田佐和



看護学部同窓会の皆様におかれましては、お元気にお過ごしでしょうか。私は4月から中野学部長の後任として学部長を務めています。同時に同窓会の副会長をさせて頂くことになりました。

このたびは、高知県立大学永国寺図書館の蔵書の除却について、同窓生の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。大学は、永国寺図書館蔵書除却検証委員会のご意見を踏まえて、適切な蔵書管理運営を図ってまいります。看護に関わる図書については、平成10年に池キャンパスに看護学部が開設された際に池図書館に移籍されています。池図書館では今後も看護に関連する専門書を整備・充実させて、地域の皆様に活用していただけるよう取り組んでまいります。また、会報「温故知新」のコーナーで懐かしい図書や雑誌を紹介してまいります。

今年の夏は日本各地で猛暑、台風や豪雨、地震などの災害が多発し、心が落ち着かない毎日でした。被災された同窓会の皆様やご家族、職場や地域の皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈りいたします。幸い学生とご家族には大きな被害はなくて安堵しています。学生達は、高知県内の被災地をはじめ愛媛県や岡山県等でボランティアとして支援活動に携わり、成長の機会を得ています。今後もよろしくお願い申し上げます。

### 主な内容

- ①同窓会副会長ごあいさつ
- ②同窓会総会報告
- ③同窓会懇親会総会
- ④看護開発研究会

- ⑤第44回高知女子大学看護学会報告
- ⑥日本家族看護学会第25回学術集会
- ⑦ようこそ先輩！
- ⑧豪雨災害ボランティア



# 平成30年度 同窓会総会報告

平成30年度看護学部同窓会総会が、7月14日(土)に開催されました。本年度の総会は、料亭濱長を会場に、県内外から71名が参加して行われました。

## 会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
  - 1) 報告事項
    - (1) 平成29年度活動報告
    - (2) 平成29年度決算報告
    - (3) 平成29年度会計監査報告
  - 2) 審議事項
    - (1) 平成30年度活動計画案
    - (2) 平成30年度予算案
    - (3) 平成30年度同窓会役員について
5. 閉会

## 議事

議事進行にあたり、議長に吉田亜紀子氏(学部39期、修士1期)を選出し、次第に則って審議されました。  
最初に庶務担当の池添志乃氏より、平成29年度同窓会活動報告があり、会計担当の川上理子氏より、平成29年度決算報告があり、承認されました。  
引き続き、平成30年活動計画案および平成30年度予算案、役員について、それぞれ提案があり承認されました。



## 平成30年度活動計画

1. 会議
  - 1) 総会の開催
  - 2) 役員会の開催
2. 事業
  - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)  
テーマ  
「変動する世界の中で『ケアとキュアの融合』を刷新する」  
講師: 渡邊知映先生  
(上智大学総合人間科学部看護学科准教授)
  - 2) 懇親会
  - 3) 会報発行 第17号、第18号発行
  - 4) 高知女子大学看護学会への活動支援
  - 5) 学生及び同窓生活動への支援
  - 6) その他

## 平成29年度活動報告

1. 会議
  - 1) 総会 平成29年7月22日(土)
  - 2) 役員会 3回開催
2. 事業
  - 1) 講演会(高知女子大学看護学会との共催)  
テーマ: 「新たな看護の創造に向けて、今、何をすべきか」  
講師: 岡谷恵子先生(東京医科大学看護学科顧問)
  - 2) 野嶋佐由美学長就任お祝いの会開催
  - 3) 会報発行 第15号・第16号
  - 4) 学生支援・同窓生活動支援
  - 5) 高知女子大学看護学会への活動支援
  - 6) 緊急奨学金



総会における同窓会役員

### 同窓会役員名簿(平成30年度)

役員名	氏名 *1:看護学部長 *2:看護学会名簿管理係兼	卒業・修了期	所属
会長	梶原和歌	10期生	近森会 顧問
副会長	藤田佐和*1	28期生	高知県立大学看護学部
	中野綾美	27期生	高知県立大学看護学部
書記	田鍋雅子	38期生・修士13期生・博士18期生	高知医療センター看護局
	山中福子	修士7期生	高知県立大学看護学部
会計	川上理子	35期生・博士9期生	高知県立大学看護学部
	西内舞里	46期生・修士12期生	高知県立大学看護学部
会計監査	鶴浜祥子(平成30年7月末迄)	26期生	高知市保健所
	野田真由美(2018年8月～)	34期生	高知市保健所
	矢野智恵	38期生・修士1期生・博士17期生	高知学園短期大学
庶務	角谷広子	25期生・修士5期生	芸西病院看護部
	池添志乃	34期生・修士2期生・博士1期生	高知県立大学看護学部
	川本美香*2	修士13期生・博士18期生	高知県立大学看護学部



#### 平成29年度 会計報告

#### 平成30年度 予算案

○収入の部 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

○収入の部 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

費目	予算額	決算額	差引	備考
前年度繰り越し	12,515,852	12,515,852	0	
平成29年度会費	1,590,000	2,715,000	1,125,000	学部生:82名+前年未納4名のうち76名納入[87.2%] 大学院生:19名(前期16名,後期3名,災害0名)のうち8名(前期5名,後期3名,災害0名)納入[42.1%] 他同窓生2名 新年度学部84名のうち83名(98.8%) 新年度大学院生(前期13名,後期1名)のうち12名納入(85.7%)
寄付金	200,000	254,860	54,860	1口1,000円×254口(のべ35名)
利息	700	61	△639	
収入合計	14,306,552	15,485,773	1,179,221	

費目	予算額	備考
前年度繰り越し	13,515,544	平成28年度在学生(学部、大学院)の終身会費を含む
平成30年度会費	1,500,000	15,000円×100名=1,500,000円 学部生:80名 大学院生:20名(博士前期課程15名,博士後期課程5名)
寄付金	200,000	1口1,000円×200口
奨学金返済	245,575	
利息	70	
収入合計	15,461,189	

○支出の部

○支出の部

費目	予算額	決算額	差引	備考	
会議費	30,000	28,588	1,412	役員会等	
事業費	同窓会会報発行費	400,000	400,000	0	会報発行3回→2回済(3回目請求・支払い29年4月)
	高知女子大学看護学会支援費	300,000	300,000	0	高知女子大学看護学会への活動支援費
	研究科20周年記念事業参加費	500,000	500,000	0	記念誌発行 交流会支援費など
	同窓会総会・学長就任お祝い会 運営費	100,000	79,849	20,151	会場費、お祝い会支援費など
	学生および同窓生活動支援費	400,000	165,940	234,060	1件あたり上限10万円
緊急奨学金費	535,800	0	535,800		
事務費	役務費	370,000	297,580	72,420	郵送料、切手、はがき代、ホームページ管理費等
	印刷費	200,000	83,400	116,600	封筒印刷等
	消耗品費	100,000	14,767	85,233	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール等
	報償費	240,000	67,705	172,295	名簿管理、書類発送に関するアルバイト料等
予備費	11,130,752	32,400	11,098,352	第5回日本GNS看護学会広告寄付	
支出合計	14,306,552	1,970,229	12,336,323		

費目	予算額	備考	
会議費	30,000	役員会等	
事業費	同窓会会報発行費	400,000	会報発行2回
	高知女子大学看護学会支援費	300,000	高知女子大学看護学会への活動支援費
	同窓会総会・懇親会運営費	100,000	運営・謝金等
	学生および同窓生活動支援費	400,000	1件あたり上限10万円
	緊急奨学金費	535,800	
事務費	役務費	370,000	郵送料、切手、はがき代、ホームページ管理費等
	印刷費	200,000	封筒印刷等
	消耗品費	100,000	ファイルほか事務用品、A4用紙、宛名シール等
	報償費	240,000	ネットワーク強化作業などのアルバイト料、各種手数料等
予備費	12,785,389		
支出合計	15,461,189		

平成30年度への繰り越し金=収入の決算額 15,485,773円 - 支出の決算額 1,970,229円 = 13,515,544円

監査報告書	
高知県立大学看護学部同窓会会長 様	
監査期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
監査結果	証拠書類並びに諸帳簿を資料として監査を実施した結果、正確かつ適正に処理されていることを認めます。

平成30年4月6日  
会計監査 矢野智恵  
鶴浜祥子



# 高知県立大学看護学部同窓会 懇親会



今年の懇親会は、料亭濱長で開催されました。役員の角谷氏、矢野氏、両氏の司会によって進められました。山崎美恵子先生の乾杯の音頭で、懇親会がスタートしました。



山崎智子先生  
米寿のお祝い



県内外の同窓生  
が集いました

土佐のお座敷遊びといえば  
・・・しばてん踊り!!



司会のお二人

# 看護開発研究会

看護開発研究会は、高知県立大学看護学部同窓会の大学院部会により運営されている会です。本会の目的は、「看護学研究科修了生と在学生在が学術的なネットワーク形成の場を提供し、研鑽を深めるとともに看護学の新たな知の創造を図る。」ことで、研究方法をキーワードに修了生の学術的なネットワークの形成を目指すものです。今年で5回目の開催となり、修了生、在校生が参加し、活発に意見交換が行われました。

## 中野研究科長の挨拶



平成30年7月15日(日) 於高知県立大学池キャンパス

第一部: 基調講演: 「次世代の研究者の育成」  
鈴木志津枝先生(神戸市看護大学学長)  
第二部: 博士論文における研究方法の開発—困難な課題と工夫  
渡邊美保先生(高知県立大学看護学部): 質的研究における課題と工夫  
森木妙子先生(高知大学医学部看護学科): 量的研究における課題と工夫  
高樽由美先生(高知県立大学看護学部): アクションリサーチにおける課題と工夫

## 第一部 基調講演



「次世代の研究者の育成」というテーマで、大学院生の教育能力を高める取り組みや次世代の研究者に求められる資質・能力、看護科学の発展を見据えたこれからの看護に求められる看護研究のあり方等についてご講演いただきました。

研究者としてのキャリア形成や研究を積み重ねていく上での多くの示唆をいただきました。



## 第二部



森木妙子先生



高樽由美先生



渡邊美保先生

質的研究、量的研究、アクションリサーチの異なる研究デザインにおいて博士論文に取り組み、博士後期課程修了生の3名の方々に研究プロセスの中で直面した困難やそこから得られた学び、研究を進めていく中での工夫等、さまざまな視点からお話をいただきました。概念と現象を常に行きつ戻りつしながら主要概念を探求していったプロセスやデータと向き合いながら分析を進めていったプロセスなど、体験談を交えての具体的なお話は、現在博士論文作成に取り組んでいる在在学生にとっても、多くの気づきや自らの論文作成のヒントにつながっていたようでした。

## 野嶋佐由美学長の挨拶



多くの修士・博士の大学院生、修了生の方々の参加があり、活発な質疑応答がなされました。アカデミックな連携をより強化し、看護学の発展、そして研究者としてのあり方について皆で考える機会になりました。



# 第44回 高知女子大学 看護学会の報告

平成30年7月14日に「変動する世界の中で『ケアとキュアの融合』を刷新する」をテーマに、第44回高知女子大学看護学会が高知県立大学池キャンパスにて開催されました。

当日は卒業生・修了生をはじめ県内外の看護職者136名のみなさまの参加をえて、活気ある学術集会となりました。

## 講演



上智大学総合人間科学部看護学科の渡邊知映先生を講師に、「ケアとキュアの融合の先にある看護技術の社会的評価」と題し、ご講演いただきました。渡邊先生は日本がん看護学会がん看護技術開発委員会の委員長として、看護技術の開発に精力的に取り組まれています。講演では、看護実践を可視化した先にある社会的評価のひとつとして、診療報酬加算のしくみについて、委員会での取り組みも紹介されながらお話くださいました。看護技術が社会的評価をうけるためには、エビデンスの構築や介入研究が必要であること、キュアだけでもケアだけでも患者のアウトカムを達成することは難しく、ケアとキュアの融合と、チームが同じアウトカムに向かって協働し、チームで提供された技術进行评估する必要があること、看護実践の質を担保し、質の評価が重要であることについて、ご講演くださいました。

学会の参加者からは、「現実を可視化していくことが大切である。マネージャーとしてそこを管理していきたい」「看護実践のアウトカム評価の大切さや評価を行う方法を考えることが重要だと思いました」など、多くの感想が寄せられ、『ケアとキュアの融合』をテーマに、これからの看護のあり方について考える貴重な機会となりました。

## ワークショップ

## 会場の様子

ワークショップ I



ワークショップ III



ワークショップ VI



ワークショップ VII



午後からは以下の7つのワークショップが開催され、66名が参加されました。ワークショップでは、修了生や卒業生、教員の話者提供から、実践の体験や研究の成果をもとに各テーマに関する報告や発表がされ、参加者との意見交換が行われました。

- I 社会的ハイリスク妊婦に焦点をあてた妊娠期からの包括的支援
- II 慢性疾患をもつ人のリハビリテーションにおける看護ケアとケア
- III 思春期の子どもたちの発達とこころのケア ～それぞれの立場から子どもたちの生活を支援しよう～
- IV 急性期医療におけるエンドオブライフケア～患者の権利を守るために～
- V 専門職として主体的に学び続ける意味
- VI ケアとケアの融合を創るシームレスな高齢者の退院支援
- VII 看護の実践を語ることで気づく自己の成長

## 総会

大学の生協食堂にてランチョン形式で行われた総会には、42名の学会員が参加しました。学部22期生 岡本真知子氏と学部35期生 和泉明子氏が議長として選出され、平成29年度の事業報告、会計決算報告、会計監査報告がされ、いずれも承認されました。審議事項として、平成30年度の奨学生選考、事業計画案、予算案、運営委員改選について提案され、いずれも承認されました。

# 日本家族看護学会第25回学術集会



2018年9月1日(土)・2日(日)、「家族看護学のグランドデザインへの挑戦」をテーマに、日本家族看護学会第25回学術集会が高知で開催されました(学術集会長 高知県立大学看護学部教授 長戸和子)。  
県内外の看護職者約760名の参加を得て、活気のある学術集会となりました。

## 会長講演



高知県立大学看護学部  
長戸和子先生

会長講演のテーマは、「変動する社会を生き抜く家族への多角的ケアをデザインする」でした。2035年問題に象徴される、これからの社会の変化を見据えて、多角的なケアの重要性と家族看護の持つ多元性について、家族支援専門看護師の方の実践事例を用いて講演されました。



高知県立大学学長  
野嶋佐由美先生

特別講演Ⅰでは、日本家族療法学会会長である渡辺俊之先生に「学際的发展を導く家族療法と家族看護のコラボレーション」をテーマにご講演いただきました。“行為者性”“多角的にみる”など、ケアの対象に向き合うときの基本的な考え方が、家族療法と家族看護のコラボレーションを考えていく際にも重要であることについて、わかりやすくお話いただきました。

## 特別講演Ⅰ



日本家族療法学会 会長/渡辺医院 院長  
渡辺俊之先生

## 特別講演Ⅱ



広島大学大学院医歯薬保健学研究科  
森山美知子先生

特別講演Ⅱでは、広島大学大学院 教授 森山美知子先生に、「看護の価値創造—研究開発された看護技術をHealth Partnerとして人々に届ける」をテーマにご講演いただきました。ご自身が携わっておられる慢性疾患疾病管理プログラムの開発過程と実践について、熱く語られました。

異分野の最新の知識を共有することを目的とした学術集会長企画では、宮田裕章先生を講師にお迎えしました。ご講演のテーマは「Society5.0時代の新しいヘルスケア—家族、コミュニティ、社会システム」で、医療分野に限らず、さまざまな分野で蓄積されているビッグデータを看護にどうつなげるか、刺激的なお話をうかがうことができました。

## 学術集会長 企画



慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室  
宮田裕章先生



学術集会では、本学在学学生・修了生が、講師、座長、学会ボランティアとして運営に携わり活躍しました  
また、演題発表者として学会を盛り立ててくださいました



教育講演の講師、座長をしていただきました



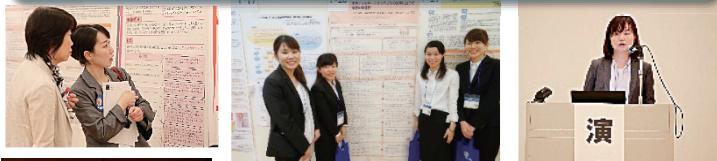
シンポジウムⅡでシンポジスト、座長をしていただきました



たくさんの卒業生、修了生が演題発表しました  
座長をしていただいた方もたくさんいます



ナーシング・サイエンス・カフェ  
看護の魅力を語っていただきました



市民公開講座も開催しました



家族支援専門看護師による「よろず相談」  
全国50数名の家族支援専門看護師のうち、  
11名が本学の修了生です！



多くの在学学生、修了生がボランティアとして  
サポートしてくださいました



## 第25回日本家族看護学会に出席して



山崎美恵子先生  
(5期生)

2018年9月1日・2日と学会に出席しました。参加者が700名余で学会が盛大に開催されましたことおめでとうございます。限られた文字数ですが感想を述べたいと思います。

まず「家族看護学のグランドデザインへの挑戦」というメインタイトルです。「われと汝の関係から」看護とは何かを考えよと心理学の故笹原邦彦教授に教えられた時代。そして看護理論家トラベラーによって「人間対人間の看護」を考えた時代。1対1ではなく一人の人間は家族集団の一員であるとして家族看護学が前高知女子大学から、その考え方を世に問うた時代。今や「家族看護学のグランドデザインへの挑戦」という方向に家族看護学は体系化へと研究されていることに驚きを感じました。

発表者はいろいろの事例や実践から、グランドデザインを構築しようとしている研究に、学問とはこのようにして体系づけられていくのだと改めて感銘をうけました。そして健康維持や健康障害をもっている人々への援助が具現化されていくのだということを学会全体をとおして感じました。

古い卒業生は看護学の今後ますますの発展を期待しています。



梶原和歌同窓会  
会長(10期生)

上記学術集會に看護学部同窓会会長として招待していただきましたので思いつく感想を述べさせていただきます。

長戸和子会長を中心に大学の先生方、臨床や地域でご活躍の研究科修了生たちが力を合わせて企画運営をされ、生き生きとした明るい展望のある、しかも和やかな雰囲気で大成功だったことをまずご報告します。

私がまだ精神科でナースをしていた1985年頃、システムズ・アプローチの家族療法が入ってきて刺激を受け臨床に取り入れておりました。その後、野嶋佐由美先生が家族療法ではなく看護の中に「家族看護学」を立ち上げる必要性を熱心に語られていたことを懐かしく思い出します。四半世紀を経て「変動する社会を生き抜く家族への多元的ケアをデザインする」という力強いメインテーマは本当に時期を得ており、これから歩む道を参加者と共にデザインしていこうではないかという呼びかけに共感を覚えました。人は生まれてすぐ母親や家族に迎え入れられます。そこが安全基地であっても取り巻く環境や病気、心の痛みなど外界は厳しさにあふれています。家族機能の崩壊やそこで育った人間の苦しみにも看護は伴走しなければなりません。家族支援看護師の役割が社会で評価され後に続く看護師たちのモデルになることを祈っています。

## ようこそ先輩！

### 詠歌

短歌を寄せてくださいました

中山恭子さん (9期生)

つややかに力みなぎる如き葉の翳に蕾の立ちて来し石路

カルストの大地の白き石の上を初夏の雲の影の過ぎゆく

パンを焼く匂ひの充つる店隅の玻璃の外に見る秋雨の街

戦へと傾かぬ意志さはやかに夾竹桃高くその花かかぐ

月桃の花香るとふ沖縄縄忌基地のひとつも無き日来るべし

山崎マリさん (20期生)

看護の日々に



病む人のところに添えぬ日の暮れて鳩の鳴く声遠くぐもる

聞き取れぬわれもどかし言いたきを語れぬ人のはがゆさ思う

癌告知受け止めかねる胸の内患者に家族に添うしかできず

いつの日か防げぬことと思いつもついにの悲しみ鉛のごとし

看護師の職退く時へあといく日白もくれんの真青き空に

# 平成30年7月豪雨災害ボランティア

今年7月、西日本を中心に記録的な大雨が続き、土砂災害などによる甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々の冥福をお祈りするとともに、被害に遭われ、避難生活を送られている皆さまに対し、心よりお見舞い申し上げます。

看護学部・看護学研究科は、被害状況をふまえ、愛媛県や岡山県で、災害看護活動を開始しました。また、学部生や大学院生による募金活動も行われました。そこで、これまで取り組んでまいりました支援活動について、報告させていただきます。

## 愛媛県宇和島市災害ボランティアセンターでの活動報告(第一次隊～第三次隊)

災害看護グローバルリーダー養成プログラムの院生が、災害ボランティアセンターで、救護班を立ち上げ、熱中症予防や感染症対策、被災された住民の方々の健康調査、要配慮者への支援活動を、市の職員や地元ボランティアの方々と共に行いました。



## 岡山県倉敷市真備町での災害看護活動報告

高知県立大学減災ケアラボの企画として、看護学研究科の神原咲子教授(真備町出身)が作成した、健康生活・くらし再建手帳の配布や、減災のための情報ポータル「まびケア」の啓発活動をおこないました。また、看護学部教員が、避難所や被災した自宅で生活する住民の方々の健康調査及び保健指導を行いました。



## 学部生や院生による募金活動

池・永国寺の両キャンパスでは、イケあい地域災害学生ボランティアセンターの学部生や、DNGLの大学院生による募金活動が行われました。



## ご寄付をいただいた方

下記の皆様より寄付をいただきました。  
誠にありがとうございました。  
(敬称略 平成30年8月31日現在)

岡田 湊子様(7期)	福岡 恵美子様(5期)
鈴木 孝枝様(2期)	新谷 ミサ子様(15期)
山田 薫様(26期)	梶原 和歌様(10期)
高木 和子様(14期)	大西 ゆかり様(D8期)
	匿名希望 1名



## 看護学部・看護学研究科の活動

看護学部では、毎年、各専門領域ごとに卒業生、修了生、また地域の専門職者の方々と学びを共有する場として看護相談室を開催しています。今年度の予定が決定しています。ぜひ、ご参加ください。

高知県立大学のホームページにも詳細が記載されていますので、ご覧下さい。



## 高知県立大学看護学部 2018 (後期)

### 看護相談室

看護相談室は、11の専門領域が、高知県の保健・医療・福祉に従事する皆様方と共に、ケアの質を向上させることを目的としています。

#### 家族看護学

\* 長戸研究室 ☎088-847-8708  
I. ケア検討会 10/20(土)、1/12(土)

#### 精神看護学

\* 田井研究室 ☎088-847-8723  
I. ケア検討会 9/20(木)、12/20(木)、3/22(金) 19:00~21:00  
II. リカレント教育 未定

#### がん看護学

\* 藤田研究室 ☎088-847-8704  
I. ケア検討会 9/29(土)、1/26(土) 13:00~15:00  
II. リカレント教育 9/28(金)、11/17(土) 3/8(金) 19:00~20:00  
(11/17のみ13:00~15:00) III. 交流会 2/23(土)

#### クリティカル ケア看護学

\* 大川研究室 ☎088-847-8703  
I. ケア検討会 12/8(土) 13:30~15:30

#### 慢性看護学

\* 内田研究室 ☎088-847-8720  
I. ケア検討会 12月14日(金) 18:30~20:00

#### 小児看護学

\* 中野研究室 ☎088-847-8710  
I. ケア検討会(大学院事例検討会) 11月11日(日)、2月  
II. その他 あかちゃん同窓会 10月14日(日) 高知医療センター

#### 母性・助産 看護学

\* 嶋岡研究室 ☎088-847-8707  
I. ケア検討会 検討中  
II. リカレント教育 11/2(金)18:00~

#### 地域看護学

\* 時長研究室 ☎088-847-8715  
I. ケア検討会 12/18(火)、2/8(金) 13:30~16:30  
II. リカレント教育 11/8(木)、12/20(木) 13:30~16:30

#### 在宅看護学

\* 森下研究室 ☎088-847-8709  
I. ケア検討会 10/12(金)、2/8(金) 18:30~

#### 老人看護学

\* 竹崎研究室 ☎088-847-8705  
I. ケア検討会 10/9(火) 18:30~(C209)

#### 看護管理学

\* 山田研究室 ☎088-847-8716  
I. ケア検討会 10/12(金)、1/18(金)18:30~21:00  
II. リカレント教育 11/3(土)18:00~19:00. 交流会 11/3 19:00~21:00

## 寄付のお願い

同窓会への寄付のご協力をよろしくお願いたします。  
寄付金は、同封の振込用紙にてお願いたします。ホームページでもご覧いただけます。  
ご不明な点はいつでもお問い合わせください。



### 編集後記

今年の夏は、猛暑、各地での豪雨、台風、地震と日本全国で災害が立て続けに発生しました。被害にあわれた同窓生の皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。  
近年稀にみる夏で、気候の大きな変動、自然の脅威を感じるのと備えの大切さ、人と人とのつながりの大切さを改めて実感しています。  
高知県立大学看護学部同窓会では、これからも看護学部の活動、同窓生のつながりを会報にのせて皆様に発信していきたいと思っております。ぜひ、近況などをお寄せいただけると幸いです。

池添・川本・西内

### 事務局

〒781-8515 高知市池2751-1 高知県立大学看護学部  
Fax: 088-847-8750

### ホームページアドレス

高知県立大学  
<http://www.u-kochi.ac.jp/>

高知県立大学看護学部  
<http://www.u-kochi.ac.jp/~kango/>

